

ECO

ACTION

21



MAJOR VENOUS JAPAN

メジャー ヴィーナス・ジャパン

環境経営レポート
2023年度版

対象期間：2023年4月～2024年3月

発行日：2024年7月1日

- 目次 -

- I. 組織の概要
- II. 対象範囲
- III. 環境経営方針
- IV. 環境経営目標の実績
- V. 中期環境経営目標
- VI. 環境経営計画の評価と次年度の取組内容
- VII. 社内ポスターの掲示について
- VIII. 社内貢献活動
- IX. 環境関連法規等の遵法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- X. 代表者による全体の評価

組織の概要

2024.3 時点

名称及び代表者

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社

代表取締役 渡辺 弘三

所在地

東京エコファクトリー（本社） 東京都江東区新木場4丁目2番21号

八丁堀事務所 東京都中央区八丁堀3丁目17-6 群成舎八丁堀ビル2階

設立

2015年12月10日

役員等の氏名

代表取締役	渡辺 弘三	2019年5月29日就任	常勤
取締役	大塚 健護	2015年12月10日就任	非常勤
監査役	釘宮 新一	2015年12月10日就任	非常勤

資本金

1億円

事業内容

鉄・非鉄・金属等の買取・販売、産業廃棄物の収集運搬業、産業廃棄物の中間処理業



組織の概要

2024.3 時点

2015.12.10 東京都千代田区大手町1-7-2にメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社を設立

2016.10.7 東京都において古物商の許可を取得

2016.10.28 東京都において産業廃棄物処分業の許可を取得

2016.11.1 東京都江東区新木場4-2-21にメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 東京エコファクトリーを開設

2016.11.7 東京都において第一種フロン類充填回収業者登録

2016.12.26 埼玉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得

2017.1.20 茨城県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得

2017.2.6 神奈川県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得

2017.2.8 千葉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得

2017.2.10 東京都において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得

2017.5.29 東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（石綿含有産業廃棄物）

2017.5.29 東京都において特別管理産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（廃石綿等）

2017.8.31 三重県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得

2017.12.26 東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（汚泥、金属くず）
東京都において産業廃棄物処理業 圧縮梱包処理を追加

2018.3.22 東京都において産業廃棄物処理業 圧縮梱包処理の種類の追加（ゴムくず）、破碎処理を追加（廃蛍光ランプ）

2018.7.5 東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（積替え保管の保有量の変更（石綿含有産業廃棄物））

2021.10.28 東京都において産業廃棄物処分業の許可更新 優良認定取得

2021.12.27 埼玉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を更新 優良認定取得

2022.3.29 千葉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を更新 優良認定取得

2022.3.31 東京都において廃棄物再生事業者登録 金属くずの再生事業

2022.4.1 八丁堀事務所（営業事業所）を開設

2023.4.1 東京都江東区新木場4-2-21のメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社東京エコファクトリーに本社移転

2024.4.22 八丁堀事務所（営業事業所）を東京都中央区湊一丁目1番12号 HSB鐵砲洲3階へ移転

事業の規模

【役員数】 3名（常勤 1名）

【従業員数】 56名

東京エコファクトリー	事務所	18名
	現場	25名
八丁堀事務所		13名

【売上高】 3,301百万円

※第9期決算（2023年4月～2024年3月）

【面積】 建物面積 3729.82m²

土地面積 6611.57m²

A棟事務所	234.60m ²
B棟事務所	74.50m ²
A棟工場	1763.30m ²
B棟工場	1485.00m ²
八丁堀 群成舎ビル 1階	86.21m ²
2階	86.21m ²

【積替保管施設】

積替え保管面積：4,100m²

最大保管高さ：2.59m

積替保管廃棄物の種類

保管量

廃石綿等	コンテナ1個 30m ³
汚泥、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物に限る）	コンテナ3個 77.6m ³
汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物を除く）に限る。）	ドラム缶1個 0.2m ³
汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物）に限る。）	ドラム缶2個 0.4m ³
廃プラスチック類、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（廃蛍光ランプ（水銀使用製品産業廃棄物）に限る）（破損したものに限る。）	ドラム缶3個 0.6m ³

事業の規模

圧縮	
廃プラ	187 t/日
金属くず	390 t/日
混合処理能力	501 t/日

切断	
廃プラ	295 t/日
木くず	271 t/日
金属くず	1132 t/日
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	616 t/日
混合処理能力	830 t/日

圧縮梱包	
廃プラ	1095 t/日
紙くず	1251 t/日
繊維くず	562 t/日
ゴムくず	1628 t/日
金属くず	3538 t/日
混合処理能力	1084 t/日

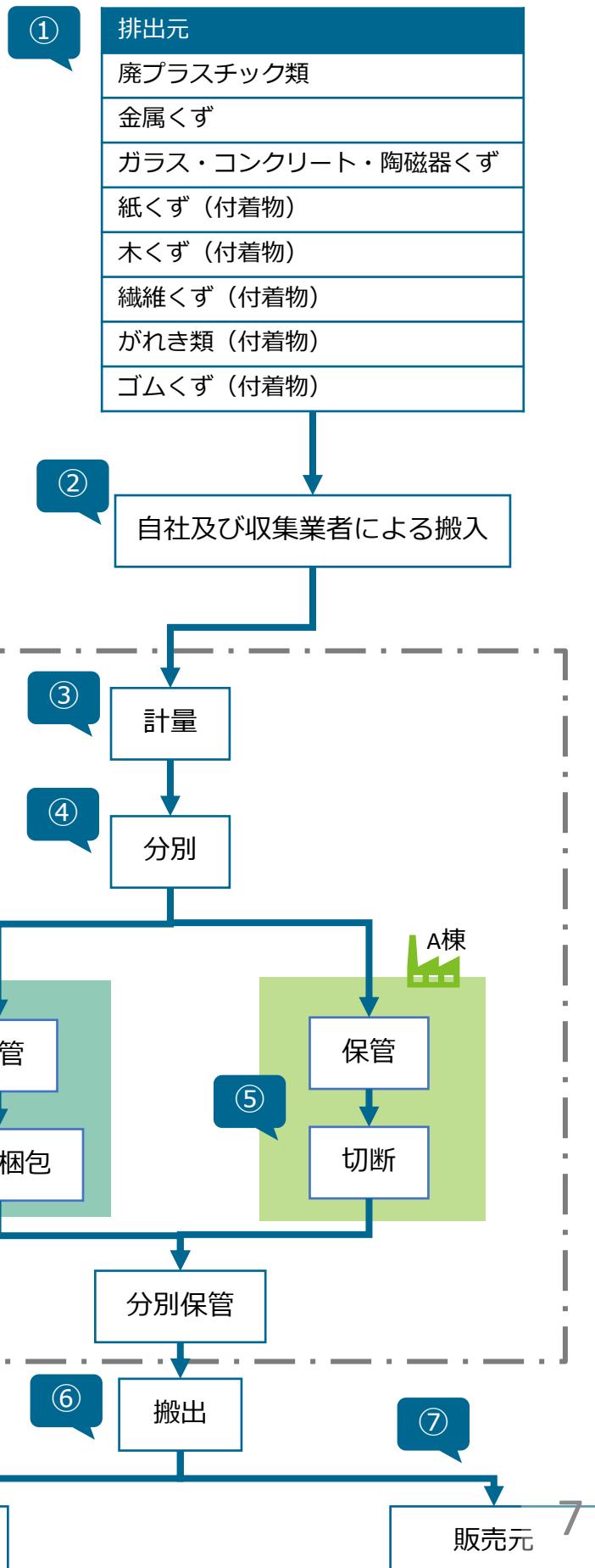
破碎 (廃蛍光ランプ [△] (水銀使用製品産業廃棄物)) に限る	
廃プラ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず 混合処理能力	19200 本/日



事業の規模

【圧縮梱包・切断工程】

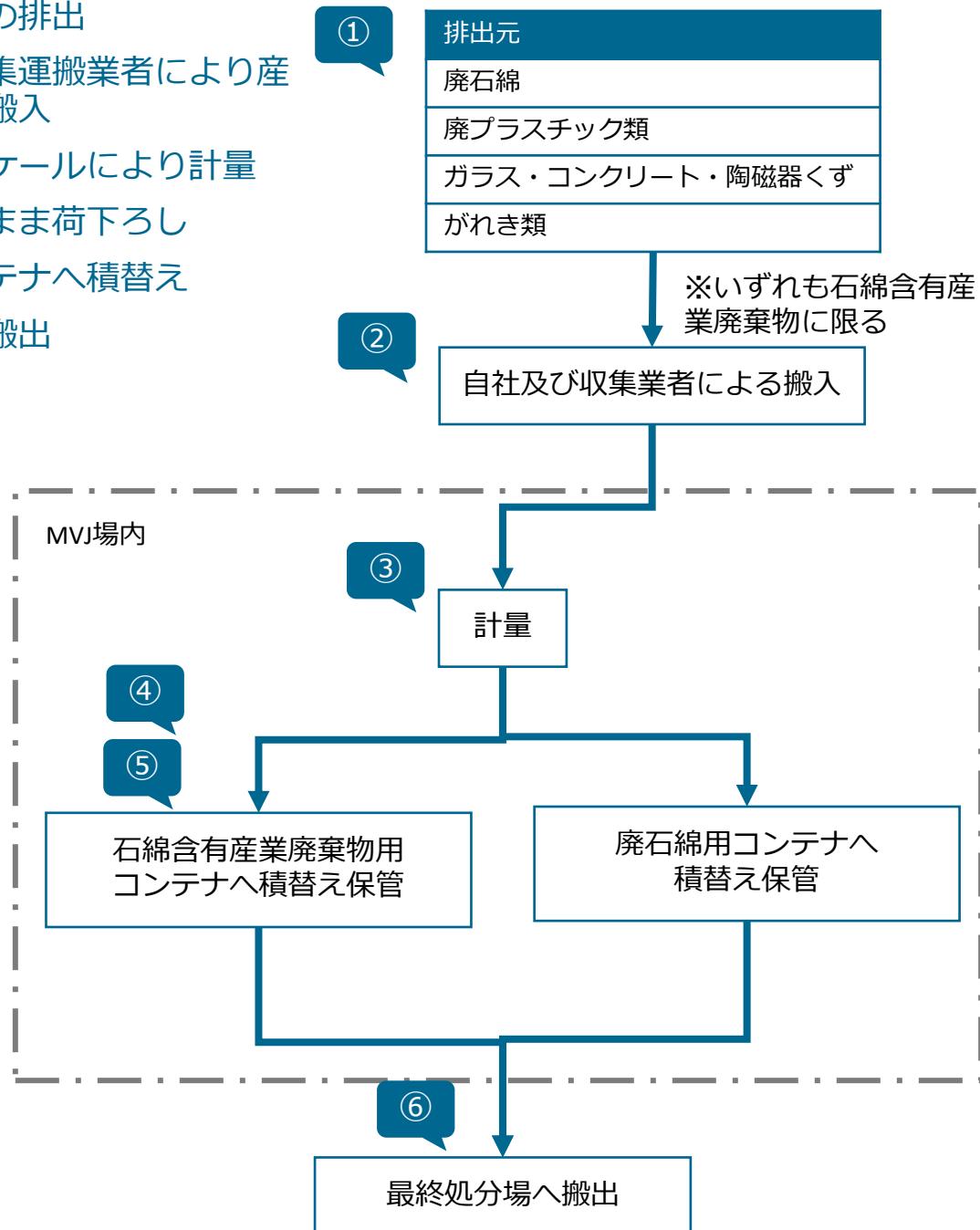
- ① 産業廃棄物の排出
- ② 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- ③ トラックスケールにより計量
- ④ 種類ごとの分別
- ⑤ プレス機により圧縮・シャーリングによる切断
- ⑥ 自社又は他社により搬出
- ⑦ 販売又は最終処分場へ搬出



事業の規模

【積替保管工程（石綿含有産業廃棄物及び廃石綿）】

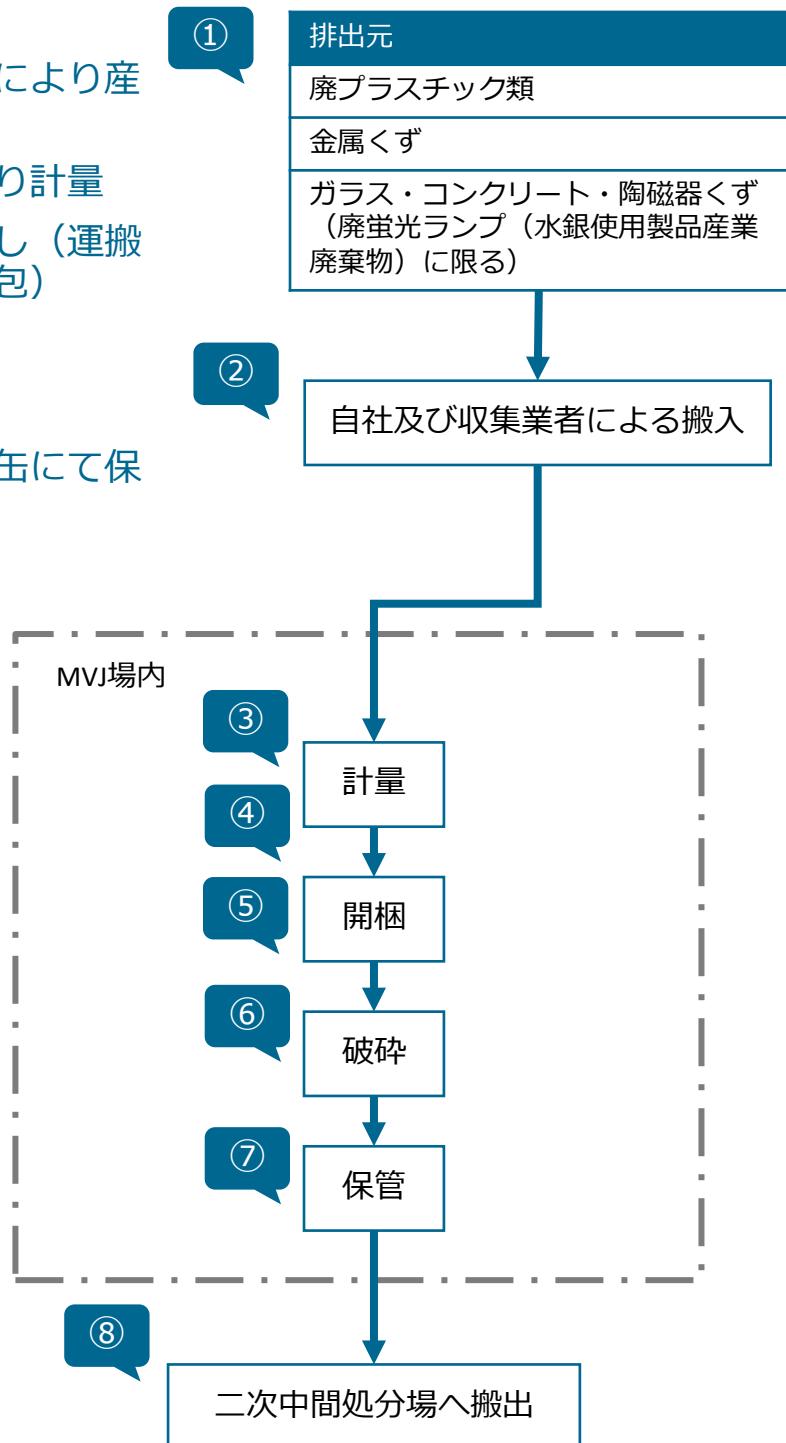
- ① 産業廃棄物の排出
- ② 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- ③ トラックスケールにより計量
- ④ 梱包状態のまま荷下ろし
- ⑤ 保管用コンテナへ積替え
- ⑥ 自社による搬出



事業の規模

【破碎工程（廃蛍光ランプ）】

- ① 産業廃棄物の排出
- ② 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- ③ トラックスケールにより計量
- ④ 桶包状態のまま荷下ろし（運搬中に割れないように梱包）
- ⑤ 開梱し、保管
- ⑥ 破碎機による破碎
- ⑦ 破碎後廃棄物をドラム缶にて保管
- ⑧ 他社による搬出



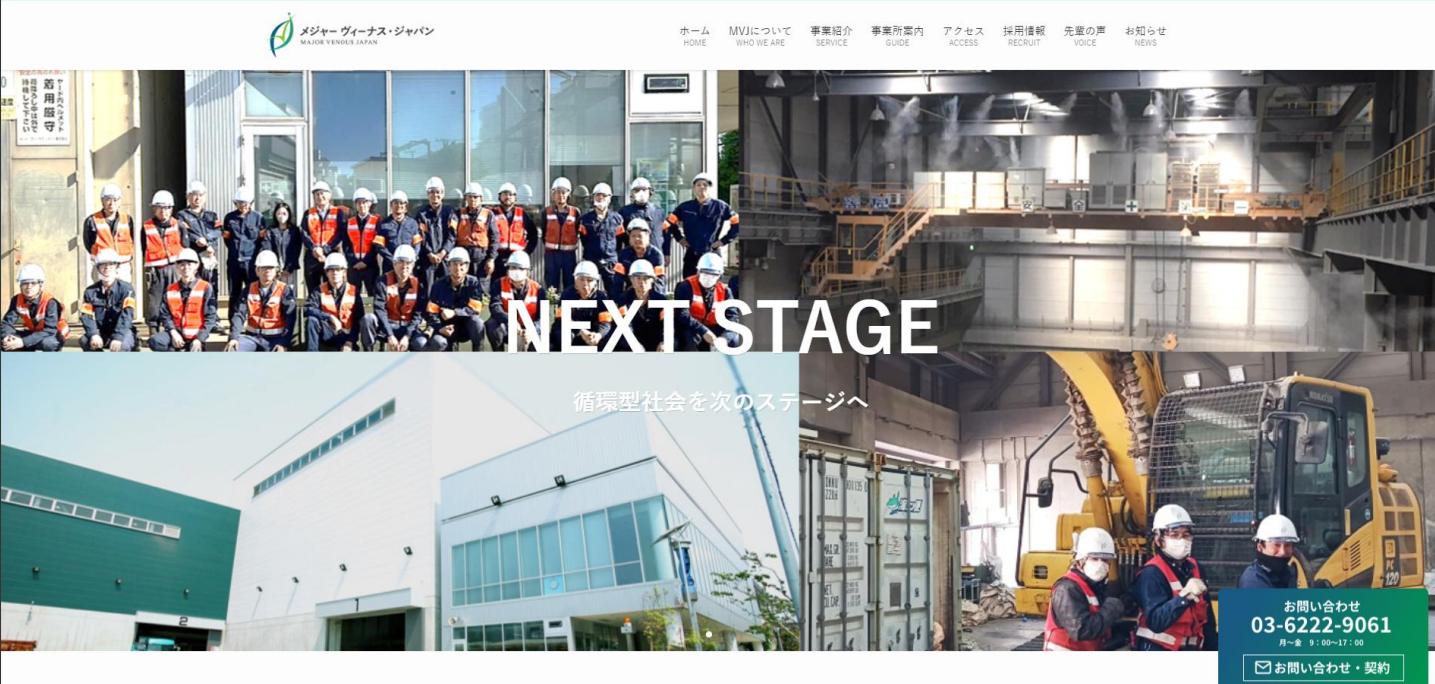
事業の規模

処理実績 (2023年4月～2024年3月)

収集運搬量	1,293 t
中間処理量	17,010t
スクラップ量	32,320 t

自社ホームページURL

 <https://major-venous.co.jp>



メジャー・ヴィーナス・ジャパン
MAJOR VENOUS JAPAN

ホーム HOME MVJについて WHO WE ARE 事業紹介 SERVICE 事業所案内 GUIDE アクセス ACCESS 採用情報 RECRUIT 先輩の声 VOICE お知らせ NEWS

NEXT STAGE

循環型社会を次のステージへ

お問い合わせ
03-6222-9061
月～金 9:00～17:00

お問い合わせ・契約

事業登録

許可都道府県：東京都

許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物処分業	13-20-190368	R3.10.28	R10.10.27	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ゴムくず
産業廃棄物収集運搬業	13-10-190368	R4.2.10	R11.2.9	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん、政令13号
特別管理産業廃棄物収集運搬業	13-60-190368	R4.2.10	R11.2.9	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等
古物商	3011316 06619	H28.10.7	なし	
再生事業者登録	370	R4.3.31	なし	金属くず
第一種フロン類充填回収業	1310542 8	H28.11.7	R8.11.6	CHC、HCFC、HFC

事業登録

許可都道府県：千葉県



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0120019 0368	R4.3.29	R11.2.7	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0125019 0368	R4.3.29	R11.2.7	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

許可都道府県：神奈川県



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0140019 0368	R4.5.16	R11.2.5	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0145019 0368	R4.5.16	R11.2.5	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

事業登録

許可都道府県 : **埼玉県**



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0110019 0368	R3.12.27	R10.12.25	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0115019 0368	R3.12.27	R10.12.25 7	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

許可都道府県 : **茨城県**



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0080119 0368	R4.4.28	R11.1.19	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0085119 0368	R4.4.28	R11.1.19	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

事業登録

許可都道府県：三重県



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0240019 0368	R4.8.31	R11.8.30	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、纖維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）、ばいじん、処理するために処理したもの
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0245019 0368	R4.8.31	R11.8.30	引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃石綿等

組織の概要

2024.3 時点

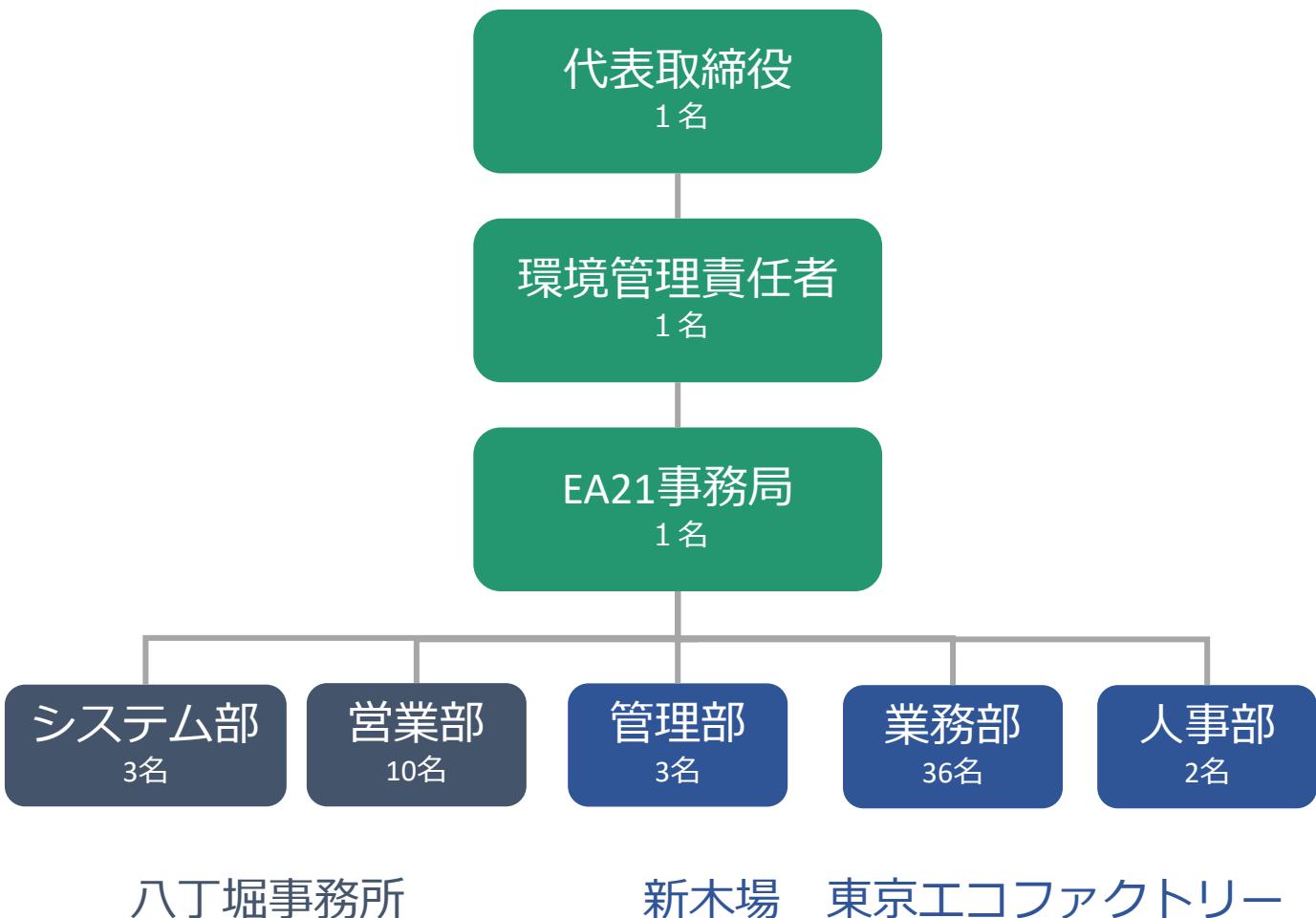
使用車両等

- ① 営業車 4台
- ② 収集運搬車 6台
- ③ 重機 8台



車種	車両用途	燃料	車両番号
トヨタ シエンタ	営業車	ガソリン+電気	3056
日産 ノート e-Power	営業車	ガソリン+電気	5569
日産 ノート e-Power	営業車	ガソリン+電気	1956
トヨタ プリウス PHV	営業車	ガソリン+電気	922
いすゞ 2tダンプ	収集運搬車	軽油	7725
日野 トレーラー	収集運搬車	軽油	29
ボルボ トレーラー	収集運搬車	軽油	21
いすゞ 4tパワーゲート	収集運搬車	軽油	521
三菱 ヒアブ	収集運搬車	軽油	8059
いすゞ 4tアームロール	収集運搬車	軽油	4392
コマツ バッテリフォークリフト × 4台	重機	電気	
コマツ ユンボ (0.45m³)	重機	軽油 (GTL)	
日立 ユンボ (0.7m³)	重機	軽油 (GTL)	
住友建機 マグネ Yunbo (0.9m³)	重機	軽油 (GTL)	
住友建機 マグネ Yunbo (0.7m³)	重機	軽油 (GTL)	

組織図



役割、責任、権限

職名	役割・責任・権限
代表取締役	環境経営全般に費用関する統括責任
	環境方針を策定し、従業員に周知する
	環境管理責任者を任命する
	実施及び管理に必要な人、設備、時間を用意する
	エコアクション21の全体評価と見直しの実施する
	経営における課題とチャンスの明確化を行う
環境管理責任者	環境管理システムの評価及び、対策を行う
	環境活動の取組結果を代表者に報告する
	環境法令遵守の責任を持つ
	エコアクション21文書類(環境方針を除く)の承認を行う
EA21事務局	環境管理責任者の補佐
	環境管理システムの構築、文書化、実施運営を行う
	環境への負荷の自己チェックを評価する
	環境への取組の自己チェックを評価する
	環境経営レポート
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	自主的・積極的な環境活動への参加
	関連する法規制等を遵守する
	教育・訓練を実施する
営業部	社会貢献活動報告書
	環境負荷データ
管理部	事故対応マニュアル
	活動計画管理表
	是正措置及び予防措置
	教育訓練計画
	環境関連法規
業務部	防火訓練
	安全衛生作業手順書
	大気中アスベスト濃度検査
	設備電力使用量
	外部苦情受付
システム部	環境負荷データ

<基本理念>

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は深刻さを増し、それへの対応は人類共通の重要課題となっている。

このような状況に対し、メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社では、リサイクル事業と廃棄物処理事業の推進により循環型社会の形成に貢献することが総合リサイクル業としての社会的使命であると認識し、そのため、全従業員が一体となり地球環境及び地球環境の保全と環境負荷の低減に向けて積極的な施策を推進し、日々の業務に取り組む。

<活動指針>

1 エコアクション21に適合するマネジメントシステムを運用し、継続的に改善するとともに、環境改善に努める。

2 当社の業務に関する法的要件事項及び当社が同意するその他の要件を遵守する。

3 業務を通して一人ひとりが知恵を出し合い、以下に取り組む。

- ①資源回収推進とリサイクルの高度化
- ②地域社会への貢献
- ③省資源・省エネルギー化の推進（カーボンニュートラル）
- ④環境に配慮した製品の購入

4 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ、公表する。環境方針は、全従業員に周知徹底し、かつ、一般の方に公開する。

制定 2017年5月1日
改定 2019年7月1日
2022年4月1日
2023年4月1日

環境経営目標の実績

2023年目標値と実績の比較一覧

項目	2023年実績	2023年目標	判定	評価
総搬入量 (t)	51,130	60,748		CO2排出量と原単位は目標未達成。収集運搬車両軽油の増加が起因し、燃料使用量が増加。排出二酸化炭素量が増えている。
温室効果ガス排出量	二酸化炭素 (kg-CO2)	338,436	△	307,968
	原単位換算	6.62 (132.4%)		5.00
エネルギー使用量 ※燃料の合計値はあくまで参考値	購入電力 (kWh) (下段八丁堀)	1,105,806 13,460	△	購入電力は目標達成、原単位は目標未達成。合計搬入量の減少により原単位の上昇が起こっている。
	原単位換算 (下段八丁堀)	34.61 (111.6%) 841 (92.9%)		31.00 905
	ガソリン (L)	1,668.87	○	目標達成。営業車等の利用が増加したために、燃料等の利用も増加。原単位は変化していない。
	原単位換算	417.22 (95.3%)		438
	燃料 (L) ※参考値 [a][b]トータル	134,982	○	車両燃料：使用量/GTL：原単位ともに目標未達成。搬入重量減少と利用量の増加が要因。車両燃料のように利用量は上がつても、原単位の上昇は抑えるように効率よく利用するよう対策を立てたい。
	[a] GTL燃料 (L) 《工場軽油》	73,797		77,826
	原単位換算	1.44 (112.5%)		1.28
	[b] 車両燃料 (L)	61,185	○	36,373
	原単位換算	0.34 (100.0%)		0.34
	都市ガス (m³)	33	○	目標達成。浴槽設備をシャワーへ変えたことが大きく作用している。CO2排出量を抑えるうえでは良い結果となった。
	原単位換算	0.55 (19.0%)		2.89
水使用量	灯油 (L)	992	△	目標未達成。灯油の利用は季節的な利用なので、原単位での増加がみられる。裁量に左右され易いものであるが無駄な利用がないよう啓発できればと思う。
	原単位換算	16.53 (118.2%)		13.99
	上下水道 (m³)	1,171	○	目標達成。無駄遣いは少なく、節水が意識できていると考えられる。
	原単位換算	19.52 (66.8%)		29.24

判定の基準を以下とする。

○ (2点) 目標達成

△ (1点) 目標未達成であるが原因が予想される

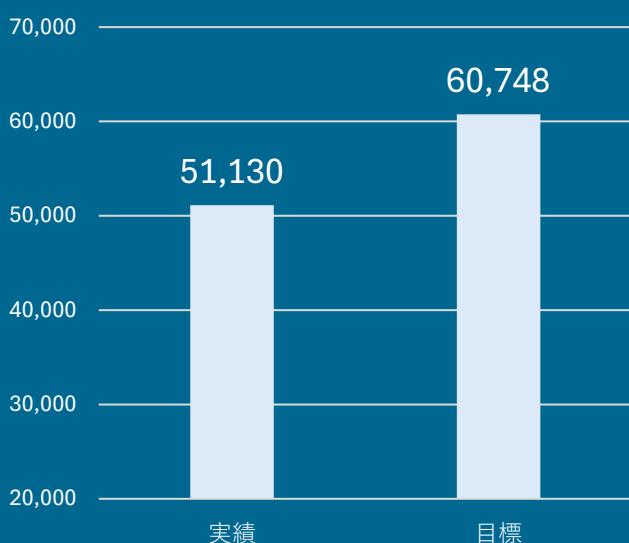
× (0点) 目標未達成かつ原因不明確

今年度判定：11点

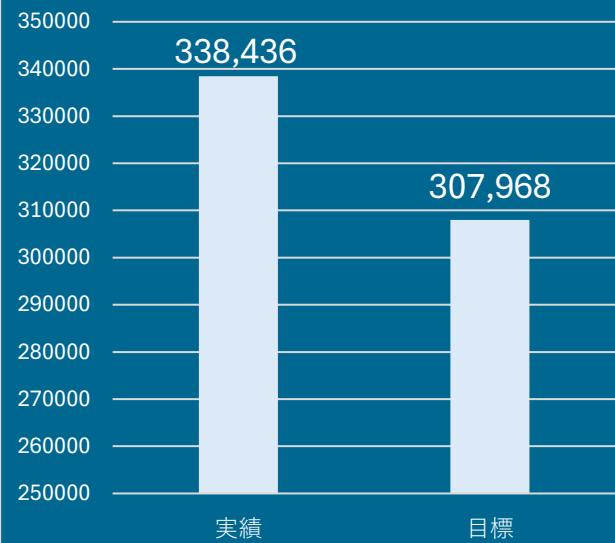
環境経営目標の実績

項目	2023年実績	2023年目標
総搬入量 (t)	51,130	60,748
温室効果ガス排出量	二酸化炭素 (kg-CO ₂)	338,436
	原単位換算	6.62 (132.4%)

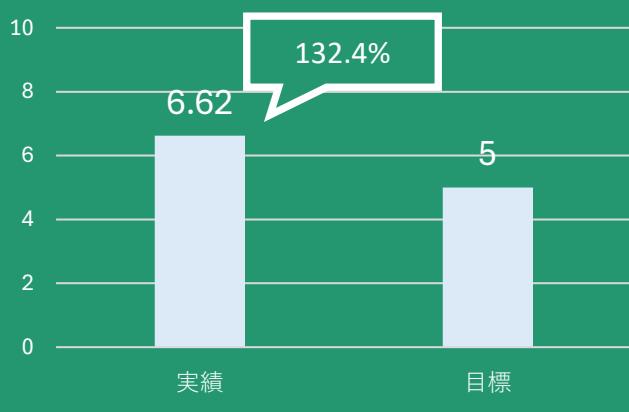
総搬入量 (t)



二酸化炭素(kg-CO₂)



原単位換算



※二酸化炭素(kg)/総搬入量(t)

判定	評価
△	CO ₂ 排出量と原単位は目標未達成。 収集運搬車両軽油の増加が起因し、燃料使用量が増加。 排出二酸化炭素量が増えている。

環境経営目標の実績

電力 新木場工場分

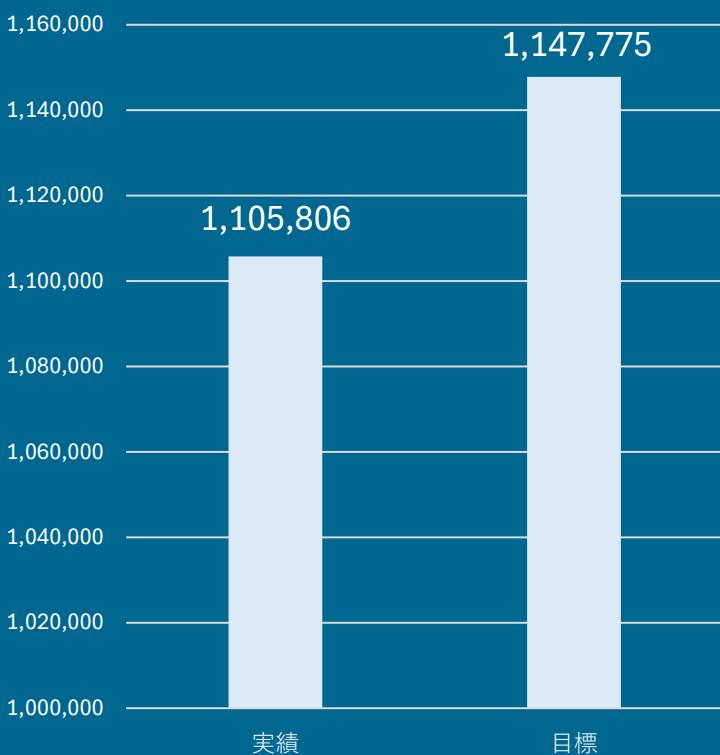
項目	2023年実績	2023年目標
エネルギー使用量	購入電力 (kWh)	1,105,806
	原単位換算	34.61 (111.6%)

CO2排出係数(kg-CO2/kWh)

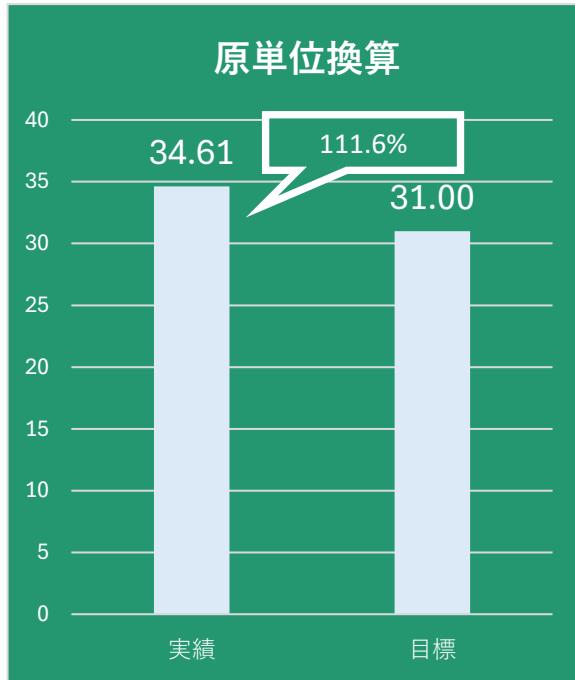
0

※2021年5月より100%再生可能エネルギーを利用しているため、CO2の排出係数は0。

購入電力(kWh)



原単位換算



※購入電気量(kWh)/金属スクラップ受入(t)

判定	評価
△	購入電力は目標達成、原単位は目標未達成。 合計搬入量の減少により原単位の上昇が起こっている。

環境経営目標の実績

電力 八丁堀事務所分

※目標を計測から 3 %減少での設定

項目	2023年実績	2023年目標
エネルギー使用量	購入電力 (kWh)	13,460
	原単位換算	841 (92.9%)
	CO2排出量 (kg-CO2/kWh)	5,491.68

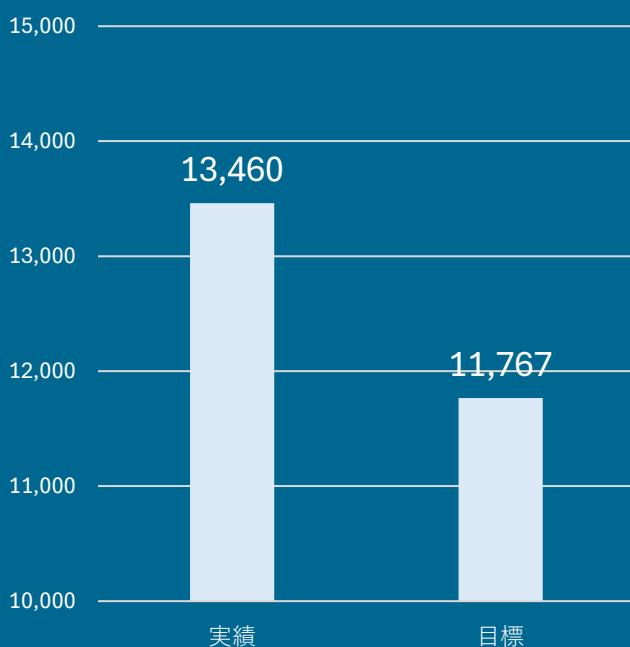
CO2排出係数(kg-CO2/kWh)

0.408 (東京電力)

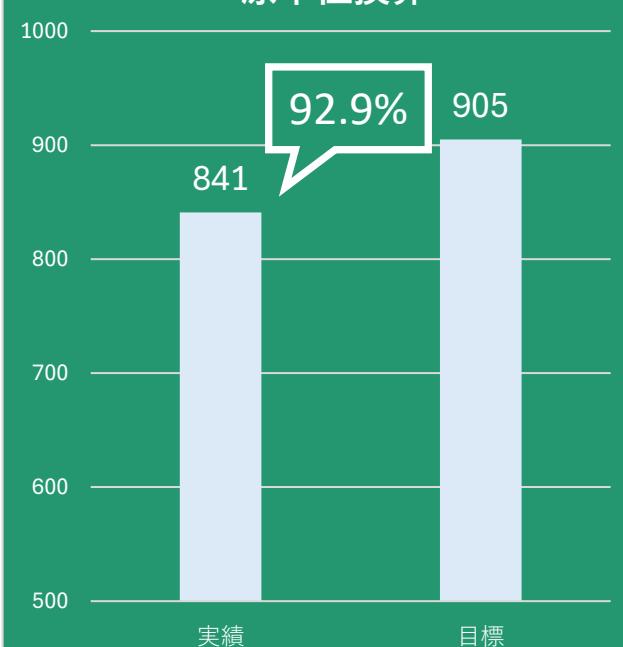
※原単位計算

購入電気量(kWh)/八丁堀事務所所属従業員数

購入電力(kWh)



原単位換算



判定	評価
△	購入電力は目標未達成、原単位は目標達成。 使用量は上がっているが原単位では減っている為、無駄な消費をしていない。 ※事務所個別評価

環境経営目標の実績

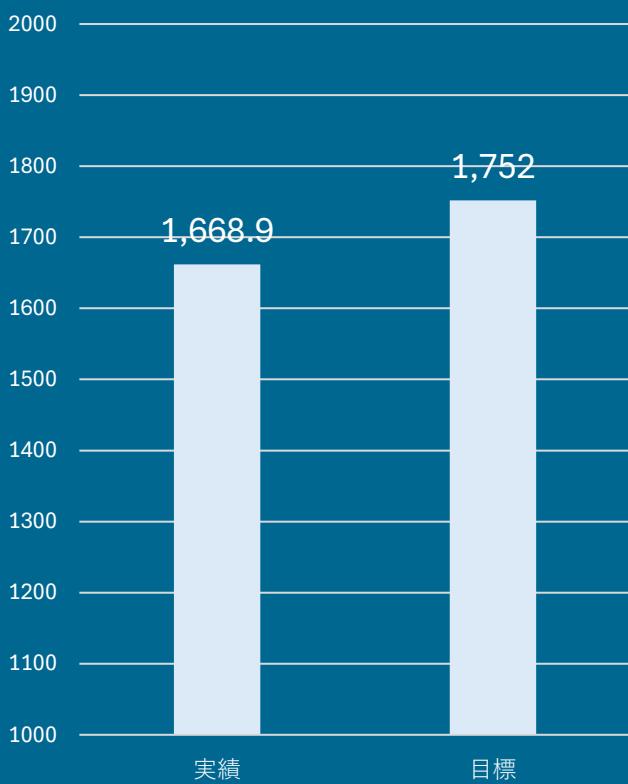
項目	2023年実績	2023年目標
エネルギー使用量	ガソリン (L)	1,752.00
	原単位換算	438
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	4,064.64

CO2排出係数(kg-CO2/L)

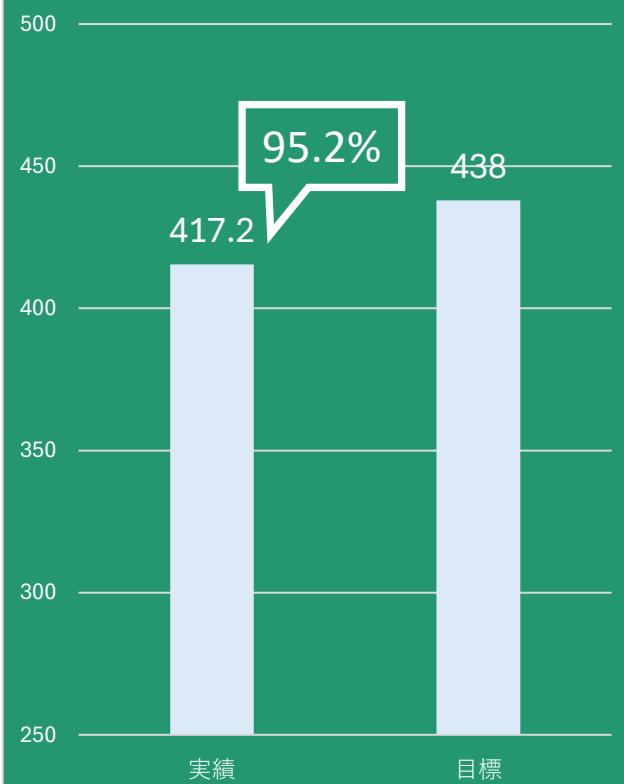
2.32

※ガソリン(L)/営業車台数(台)

ガソリン (L)



原単位換算



判定	評価
○	目標達成。 営業車等の利用が増加したために、燃料等の利用も増加。 原単位は変化していない。

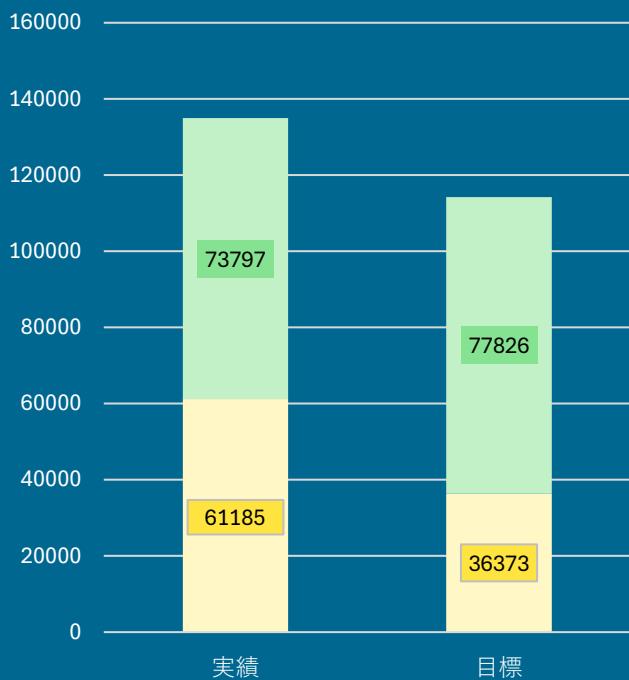
環境経営目標の実績

項目	2023年実績	2023年目標
エネルギー使用量 ※燃料の合計値は あくまで参考値	燃料 (L) ※参考値 ([a][b]トータル)	134,981.83
	[a] 車両燃料 (L)	61,185.26
	原単位換算	0.34 (100%)
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	157,857
	[b] GTL燃料 (L)	73,797
	原単位換算	1.44 (112.5%)
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	174,142

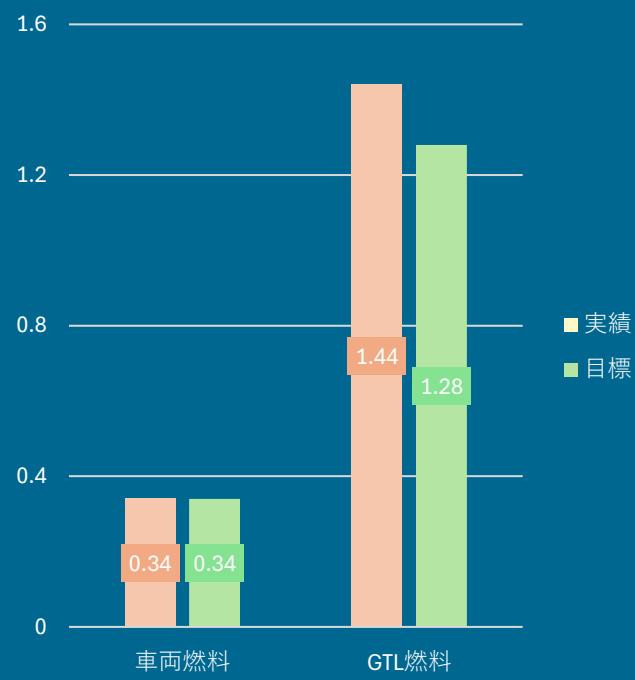
CO2排出係数(kg-CO2/L)	
軽油	GTL燃料
2.58	2.36

※GTL燃料(L)/総搬入量(t)
車両燃料(L)/運行距離(km)

燃料 (L)



原単位換算



判定	評価
○	車両燃料：使用量／GTL：原単位ともに目標未達成。 搬入重量減少と利用量の増加が要因。 車両燃料のように利用量は上がっても、原単位の上昇は抑えるよう に効率よく利用するよう対策を立てたい。

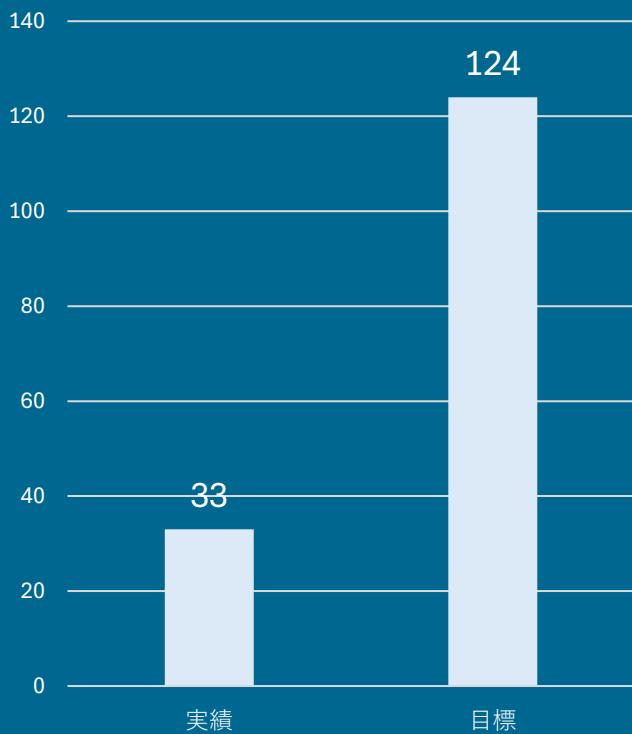
環境経営目標の実績

項目	2023年実績	2023年目標
エネルギー使用量	都市ガス (m ³)	33
	原単位換算	0.55 (19.0%)
	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /m ³)	73.59

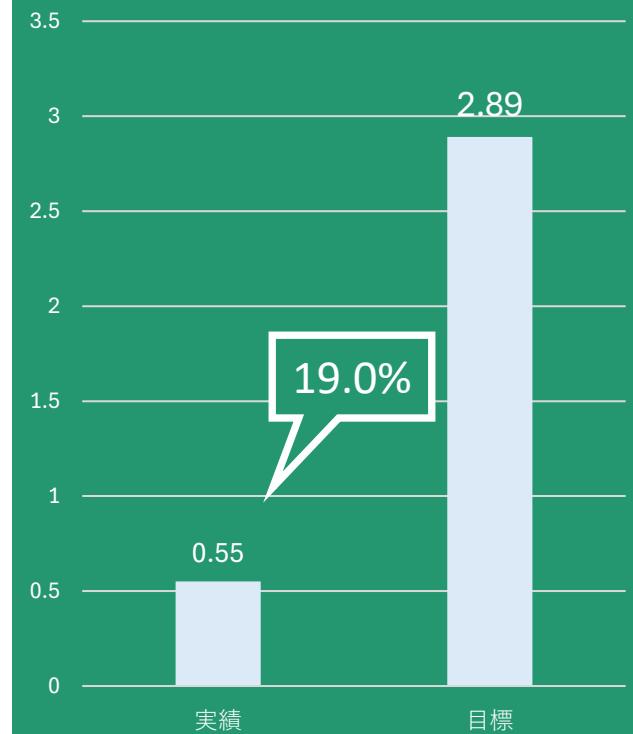
CO₂排出係数(kg-CO₂/m³)

2.23

都市ガス(m³)



原単位換算



※都市ガス(m³)/従業員数(人)

判定	評価
○	目標達成。 浴槽設備をシャワーへ変えたことが大きく作用している。 CO ₂ 排出量を抑えるうえでは良い結果となった。

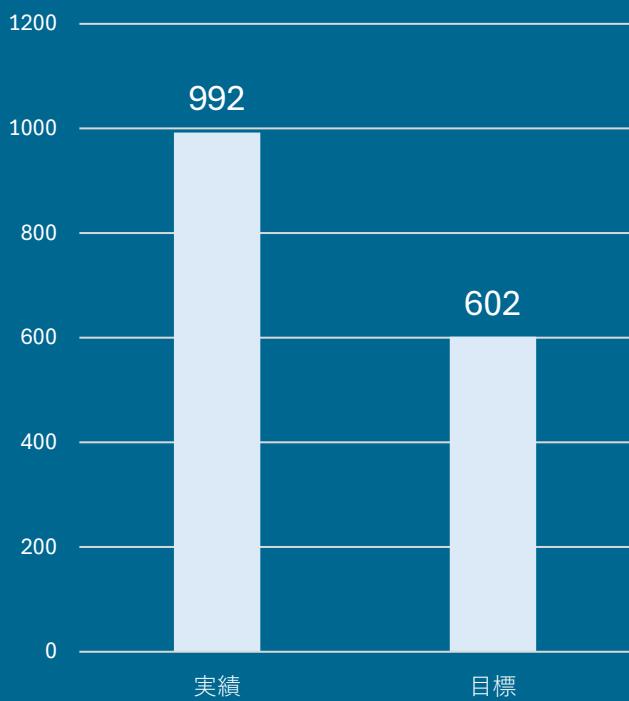
環境経営目標の実績

項目	2023年実績	2023年目標
エネルギー使用量	灯油 (L)	992
	原単位換算	16.53 (118.2%)
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	2,211.12

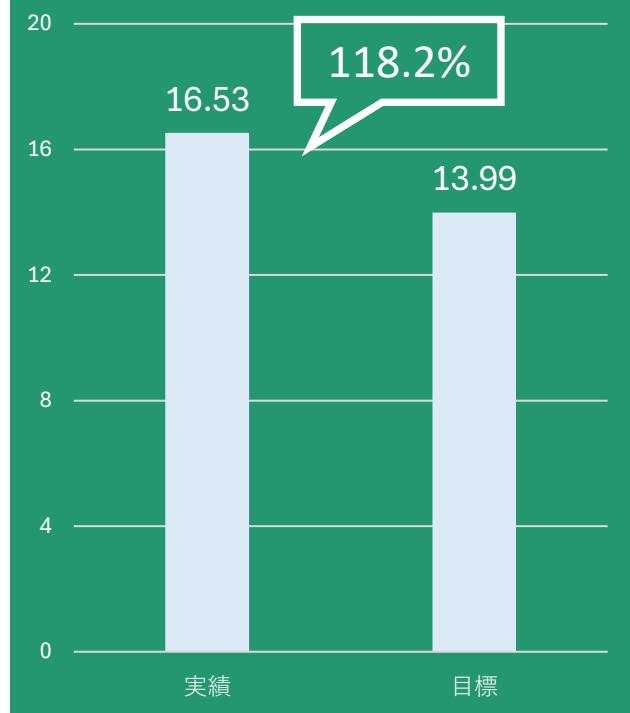
CO2排出係数(kg-CO2/L)

2.49

灯油(L)



原単位換算

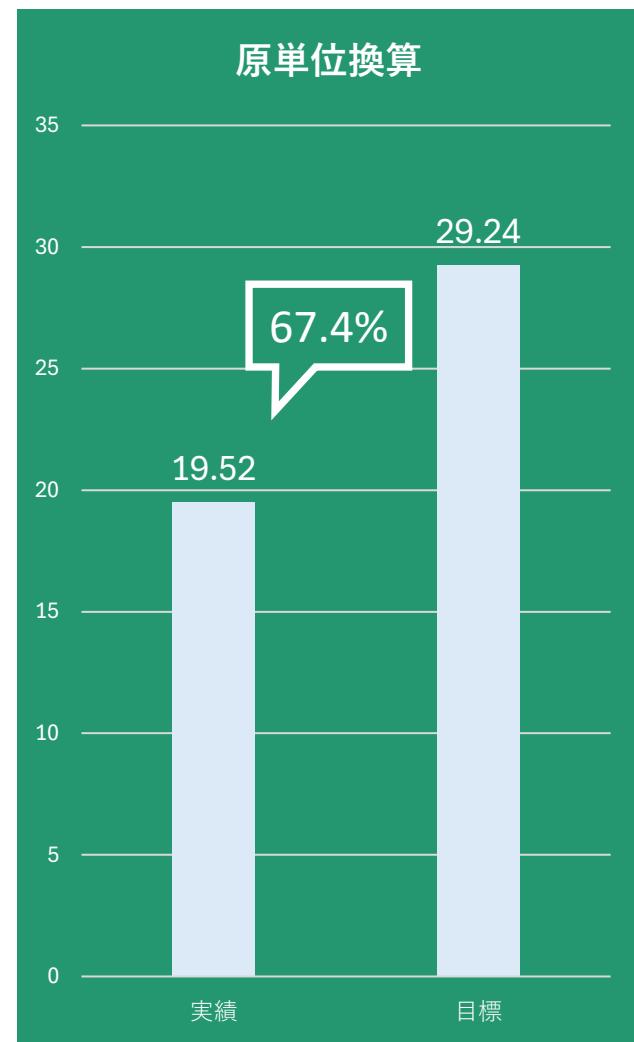
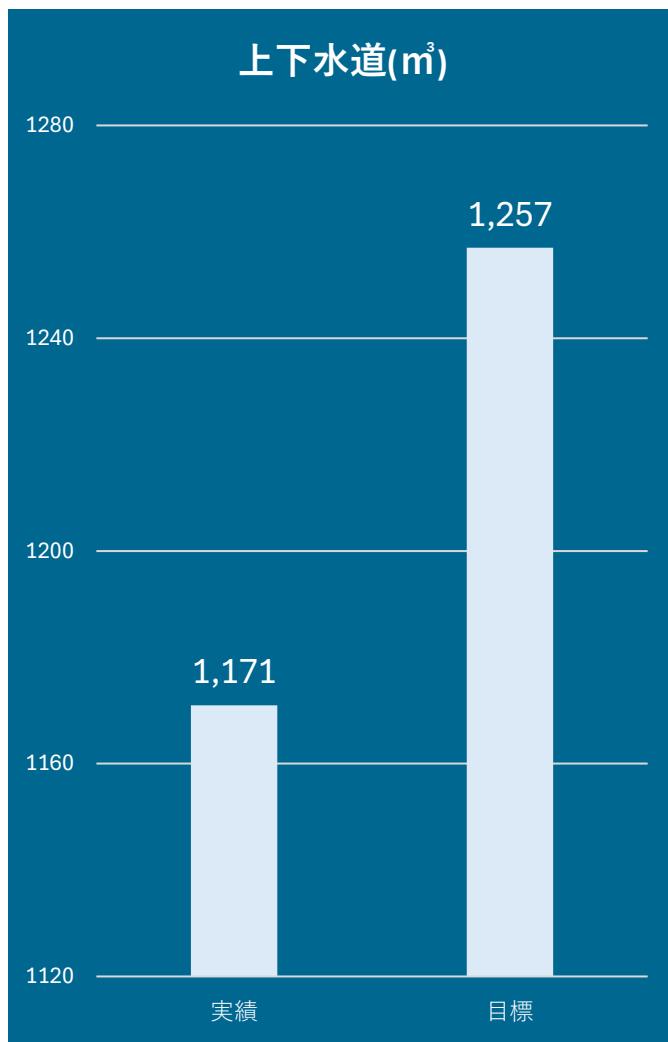


※灯油(L)/従業員数(人)

判定	評価
△	目標未達成 灯油の利用は季節的な利用なので、原単位での増加がみられる。 裁量に左右され易いものであるが無駄な利用がないよう啓発できればと思う。

環境経営目標の実績

項目	2023年実績	2023年目標
水使用量	上下水道 (m ³)	1,245
	原単位換算	28.94



※上下水道(m³)/従業員数(人)

判定	評価
○	目標達成 無駄遣いは少なく、節水が意識出来ていると考えられる。

中期環境経営目標

中期目標（2021年度の実績を元に、2024年度までの目標を策定しました。）

環境配慮商品の購入については、事務用品の購入等可能なところから着手しその実績を踏まえて2024年度に目標設定を行う。

項目	2021年度	各年度目標		
		2022年度	2023年度	2024年度
		実績	基準年原単位 1%減	基準年原単位 2%減
総搬入量 (t)	56,019	58,964	60,748	62,132
温室効果ガス 排出量 ※2023年度より八丁堀事務所電力分を含む	二酸化炭素 (kg-CO ₂)	337,200	301,639	307,968
	原単位目標	6.02	5.12	5.07
エネルギー使用量 ※燃料の合計値はあくまで参考値 ※八丁堀事務所の電力目標値は2022実績値を元に制定。	購入電力 (kWh) 新木場	1,081,215	1,159,487	1,147,775
	原単位目標	31.89	31.57	31.25
	購入電力 (kWh) 八丁堀	-	-	12,009
	原単位目標	-	-	858
	ガソリン (L)	1,788	1,770.12	1,752.24
	原単位目標	447	442.53	438.06
	燃料 (L) ※参考値 ([a][b]トータル)	111,128	113,826	114,199
	[a] GTL燃料 (L)	74,013	77,082	77,826
	原単位目標	1.32	1.31	1.28
	[b] 車両燃料 (L)	37,115	36,744	36,373
	原単位目標	0.344	0.341	0.338
	都市ガス (m ³)	127	126	124
	原単位目標	2.95	2.92	2.89
	灯油 (L)	614	608	602
	原単位目標	14.28	14.14	13.99
水使用量	上下水道 (m ³)	1,270	1,257	1,245
	原単位目標	29.53	29.2	28.94
2024年度、（有価物+選別リサイクル量）／（有価物+産業廃棄物）とした再資源化70%を維持する目標追加				

※原単位はそれぞれ、「環境経営目標の実績」の詳細ページに記載。

※自社排出の廃棄物 新木場1日2袋、八丁堀週に2袋を維持できるよう努めています。

2023年度の環境経営計画における活動計画

項目	2023年度の取組内容
オフィス電力使用量の削減（責任：管理部）	<ul style="list-style-type: none">・使用していない時間の電灯の消灯・使用していない時間の電気機器の電源OFF・社内ポスターによる節電の呼びかけ
車両燃費の向上（全社）（責任：営業部）	<ul style="list-style-type: none">・社内ポスターによるエコドライブの呼びかけ・各社員への朝礼時の指導・運転時のエコモード設定
工場用電力使用量の削減（責任：業務部）	<ul style="list-style-type: none">・使用していない時間の電灯の消灯・使用していない時間の電気機器の電源OFF・工場内設備の節電・社内ポスターによる節電の呼びかけ・デマンドレスポンスによる工場内の電力使用抑制
廃棄物排出量（責任：管理部）	<ul style="list-style-type: none">・マイカップ、マイボトルの使用の呼びかけ・ミスプリントの裏紙利用
上水使用量の削減（責任：管理部）	<ul style="list-style-type: none">・ポスターなどによる節水の呼びかけ

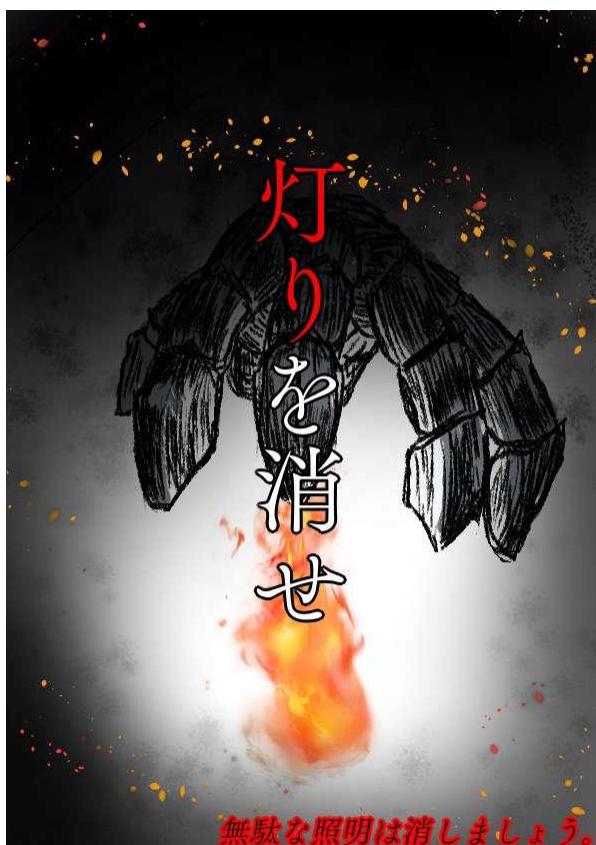
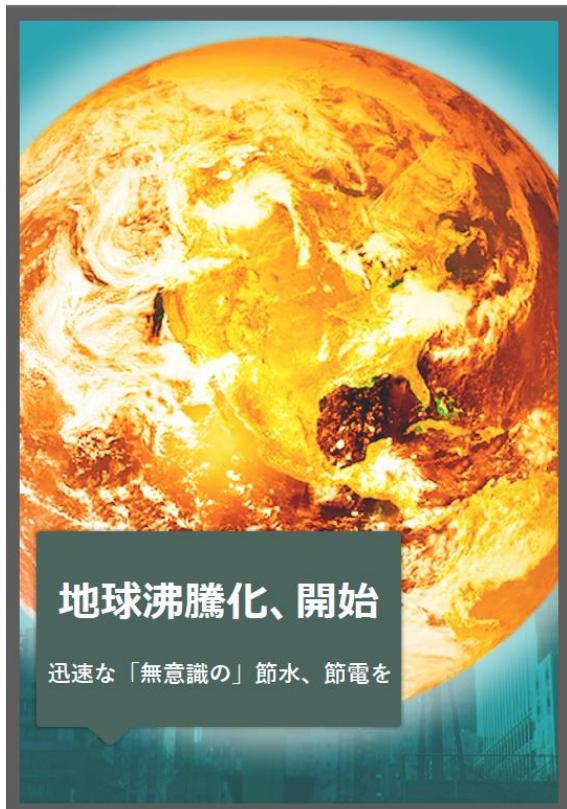
2023年度環境経営計画の評価と次年度の取組内容

取組結果【○良好 △不足】

項目 (特段の記載があるものを除き通年実施)	判定結果	判定		次年度の取組内容
		理由	代表者評価	
オフィス電力使用量の削減（責任：管理部）	○	使用した電力は削減されている為。	不要な電力を利用しないことを社内で心掛けられるよう、節電に取り組んでほしい。	・不要、休息又は昼休み時間の電灯の消灯 ・不要機器等の電源OFFの徹底
車両燃費の向上（全社）（責任：営業部）	○	意欲的に取り組んだ結果。	引き継ぎエコな運転が心がけましょう。	・車内エアコンの適正な温度管理及び急発進、急ブレーキの禁止について社内周知をする（ポスター作成や電子掲示板の作成） ・燃費データの計測
工場用電力使用量の削減（責任：業務部）	○	使用した電力は削減されている為。	稼働時間が増えているのはやむを得ないが、その中でも節電に取り組んでほしい。	・空調温度の適正化（夏季：室内温度27°C、冬季：室内温度20°C） ・休息及び昼休み時間における工場で使用している電気機器の電源のOFF ・工場内設備、照明及び冷暖房機器の節電 ・使用していない設備のこまめな電源OFF
廃棄物排出量（責任：管理部）	○	意欲的に取り組んだ結果。	エコキヤップ活動やゴミの分別など今後も継続的に取り組んでいってほしい。	・マイカップ、マイバッグの使用 ・従業員への分別の呼びかけ ・ごみ分別の啓発
上水使用量の削減（責任：管理部）	○	意欲的に取り組んだ結果。	従業員数が増えても使用量が削減できているので、今後も継続的に取り組んでいってほしい。	・ステッカー等の貼り付けによる社員の節水活動の推進

社内ポスターの掲示に関して

節電、節水等を呼びかけるポスターを作成し、末端社員まで浸透するよう、エコアクション21の意識の醸成を行っています。



今年も全員で節電。

不必要的電気使用の削減

- ・不要、不在時の電灯の消灯
- ・機械不要時は電源OFF

不必要的工場用電力使用の削減

- ・使用していない設備の電源OFF
- ・工場内設備、照明及び冷暖房機器の節電

社会貢献活動：エコキャップ運動

飲み終わったペットボトルのキャップを集めて、リサイクルを行っている「エコキャップ推進協会」に送付しています。

エコキャップ 受領書

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社

八丁堀事務所 御中

□印: 06745
分類: 会社
ご住所: 東京都中央区八丁堀3-17-6

FAX番号: 03-6222-9062

2023/03/29

□印: MPC本社
エコキャップ推進協会
ECOCAP
〒104-0023
持田川横濱市西区下北沢1-1-1
TEL: 045-990-0299
FAX: 045-990-0293
<http://ecocap.or.jp>

エコキャップ 受領書

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 御中

□印: 24741
分類: 会社
ご住所: 東京都江東区新木場4-2-21

FAX番号: 03-5569-1797

2023/09/15

□印: MPC本社
エコキャップ推進協会
ECOCAP
〒104-0023
持田川横濱市西区下北沢1-1-1
TEL: 045-990-0299
FAX: 045-990-0293
<http://ecocap.or.jp>

今回受領個数: 344 個

累計個数 (2023/03/28時点): 851 個

受取日	数量	個数(点)	備考
2023/03/26	0.80kg	344個	

ご提供いただいたエコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。

ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

- 累計のキャップをゴミとして燃却した場合のCO2発生量
→ 6.24kg

エコキャップ1kgで約6.25kgのCO2が発生します

今回受領個数: 1,935 個

累計個数 (2023/09/15時点): 11,782 個

受取日	数量	個数(点)	備考
2023/09/15	4.50kg	1,935個	

ご提供いただいたエコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。

ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

- 累計のキャップをゴミとして燃却した場合のCO2発生量
→ 86.31kg

エコキャップ1kgで約86.3kgのCO2が発生します

第10期に新たにご参加いただいたエコステーションをご紹介します

エコキャップ推進協会の活動の日印の一つとなつてあります
障がい者支援としてエコステーションが運営がおります。今ま
は2016年9月より新たにご参画いただいた阪急阪神におきまして
「阪急阪神 生活支援ハウス アンアン」さんをご紹介し
ます。

理事長 阪王さまより

エコキャップのご収集されることからすでに社会とつながってい
ます。分別・シールはがいなども得意とすることを感じ、や
り方を工夫することによって障害がある人も参加できる仕事
になります。

今後は、エコキャップ料金推進会ホームページをご覧ください。

https://ecocap.or.jp/report_20151225.html

エコキャップ新聞2月号に掲載

ご協力いただいた施設を専用してあります。法人本部はごお問い合わせください。

※皆様の受領個数は当協会HPの「キャップ回収実績」に、掲載させて顶きます

エコキャップ運動に参加いただいている企業のCSR、SDGsのバナー広告を募集しています。
このバナー広告は寄付金扱いになります。

バナー広告掲載料は年間30,000円・50,000円になります。

掲載させていただいた場合、企業・団体のロゴをクリックすると企業・団体のHP(URL)
に移動し、企業・団体のCSR、SDGsの活動等のご紹介をします。

詳細はこちら https://ecocap.or.jp/csr_apply/

第10期に新たにご参加いただいたエコステーションをご紹介します

エコキャップ推進協会の活動の日印の一つとなつてあります
障がい者支援としてエコステーションが運営がおります。今ま
は2016年9月より新たにご参画いただいた阪急阪神におきまして
「阪急阪神 生活支援ハウス アンアン」さんをご紹介し
ます。

理事長 阪王さまより

エコキャップ料金推進会ホームページをご覧ください。
分別・シールはがいなど得意とすることを感じ、や
り方を工夫することによって障害がある人も参加できる仕事
になります。

今後は、エコキャップ推進協会ホームページをご覧ください。

https://ecocap.or.jp/report_20151225.html

エコキャップ新聞2月号に掲載

ご協力いただける施設を専用してあります。法人本部までお問い合わせください。

※皆様の受領個数は当協会HPの「キャップ回収実績」に、掲載させて顶きます

エコキャップ運動に参加いただいている企業のCSR、SDGsのバナー広告を募集しています。
このバナー広告は寄付金扱いになります。

バナー広告掲載料は年間30,000円・50,000円になります。

掲載させていただいた場合、企業・団体のロゴをクリックすると企業・団体のHP(URL)
に移動し、企業・団体のCSR、SDGsの活動等のご紹介をします。

詳細はこちら https://ecocap.or.jp/csr_apply/

社会貢献活動：盲導犬募金

✿ 募金をお寄せいただきありがとうございました ✿



受領書

皆さまからの募金は、視覚障害者の積極的な社会参加を推進する盲導犬育成と無償貸与のために大切に活用させていただきます。

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 様



募 金 額 8,308 円

今までの累計額 8,308 円

2023 年 10 月 13 日



点線で切り取り、目隠しシールをはがし募金箱の前面に掲示ください-----

《御 礼》

盲導犬育成のための募金にご協力いただきありがとうございました。上記受領書の通り、市民の皆さまからの募金をお預かりいたしました。大切に活用させていただきます。

当協会は1967年に創立され、2022年8月10日に55周年を迎えることが出来ました。これからも一頭でも多くの盲導犬を育成するために、愚直な努力を重ねてまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

2023年 10月 18 日 公益財団法人 日本盲導犬協会

理事長 井上 幸彦



✿ 日本で活躍する盲導犬 848頭 (2022年3月末) ✿



環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係機関及び近隣からの違反の指摘、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

法的義務を受ける環境関連法規制は次の通りです。

(1/3)

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物の排出者（事業者、市民）-排出事業者について記述 産業廃棄物の収集運搬、中間処理	適切な分別、3Rの推進	○
		産廃収集運搬・処理業者との契約、許可証写し保管	○
		保管基準 ・産廃置場60cm×60cm以上表示 ・飛散・浸透防止 ・衛生管理	○
		努力義務（県条例で必須あり）産廃処理現場の定期的確認（他社に依頼也可）	○
		マニフェストの管理	○
		排出者の管理表報告書の提出	○
		収集・運搬・処分等の基準	○
		保管基準の順守	○
		管理者の設置	○
		委託基準の順守	○
		契約締結	○
		マニフェスト管理	○
		処理基準の順守	○
		施設の維持管理	○
		帳簿の記載義務	○
処理実績報告	○		
石綿の保管基準 覆い、囲い、梱包等	○		
特定施設事故時の処置、届出	○		
水銀使用製品産業廃棄物に係る新たな措置 ・適正保管（分別保管と掲示） ・委託契約書及びマニフェストへの記載	○		

環境関連法規等の違法状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無

(2/3)

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
特定家庭用機器再商品化法	家電4品目の購入・使用後の廃棄	廃棄者として適正な廃棄	○
小型家電リサイクル法	対象品目の処理	廃棄者として適正な廃棄 (パソコン、電話機、携帯電話、プリンターなど)	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (略称「フロン排出抑制法」/旧：フロン回収破壊法)	第一種特定製品のフロン類の回収・運搬	回収業者登録 フロンの引取り・引渡し義務 行程管理票の運用 記録の作成、保存、報告 「破壊証明書」「再生証明書」の交付・回付	○ ○ ○ ○ ○ ○
	フロン機器所有者の責務	フロン機器の定期点検及び点検記録の保存 一定量以上のフロン漏えい時のフロン漏えい量の事業所管轄大臣への報告	○ ○
消防法	指定可燃物	届出、表示	○
	消防用設備（消火器）等	設置と維持管理 同上届出検査点検報告	○
労働安全衛生法	指定施設（フォークリフト等）	自主検査、特別検査の実施	○
	教育・研修	雇用時教育、特別教育、リーダー研修	○
	指定業務	就業制限（免許又は講習受講が必要）	○
	事故の発生、傷病の発生	監督署への報告	○
	作業	安全基準の順守	○
	測定及び記録	作業場の石綿濃度測定（年2回）	非該当
	事業場	衛生基準の順守	○

環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(3/3)

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
古物営業法	古物を売買、交換、委託を受けて売買、委託を受けて交換をする営業を行うもの	許可の取得	○
		相手方の確認義務	○
		不正品の申告義務	○
		帳簿等への記載義務	○
東京都環境確保条例	ディーゼル車規制		○
	自動車一般		○
東京都アスベスト廃棄物の適正処理指導方針			非該当

代表者による全体の評価

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 代表者 渡辺 弘三

1. 評価に必要な情報

- ・環境経営目標の実績
- ・2023年度環境経営計画の評価と次年度の取組内容
- ・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2. 代表者（代表取締役）によるコメントおよび評価

環境経営目標の実績に関して、7項目を1項目満点2点評価として、14点満点中11点、7割達成しています。現状達成項目は今後も維持し、未達項目として主要である原単位の変化を注視し効率の良い燃料の使用を心掛けていただくとともに、社内での啓発活動推進をこれからもお願いします。

また、今年度はデータの精査を主に推進してもらいました。今後は八丁堀の事務所電力へ非化石証書を割り当てることで、購入電力での二酸化炭素排出量をゼロにするよう計画をお願いします。

今後の取り組みにも期待しています。

3. 環境経営方針について

2023年4月に環境経営方針の見直しを行ったばかりの為、変更の必要性はありません。

4. 環境経営目標・環境経営計画について

現在の数値を鑑みて原単位年率1%削減目標とし、環境経営計画に定める活動を着実に実施してください。また、車両増加などを要因とした目標値と乖離している場合、見直しを行ってください。

5. 実施体制について

EA21事務局の誰が担当しても作業を進められるガイドを記載、マニュアル作成を推進して業務の効率向上と分散を図るようお願いします。